

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 01土木総務費

事務事業番号 08010101

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
土木車両整備事業		41,997 千円		40,000 千円	千円	千円	1,997 千円
都市建設部 道路維持課							
根拠法令	道路法						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	道路維持車両を活用し、路面整正や除雪作業を適切に行い、安全で安心な交通網を確保します。						
事業の必要性	東部地区の生活環境に著しい影響を及ぼしている防衛施設周辺において、委託業者の作業車両が減車となっており、市民の安心で安全な生活を確保するため、道路維持作業車両の整備が必要です。						
事業の内容	SDGs17の目標   ・東部（勇払ほか）地区における幹線道路除雪及び砂利道整正作業を行うため、モータグレーダを購入しました。 【正面】  【側面】 						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (R1年度決算額)	41,997 千円	担当正規職員	70 千円		0.01 人		
人件費	70 千円	嘱託職員	千円		人		
総 計	42,067 千円	再任用（フル）	千円		人		
		再任用（ハーフ）	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
		臨時職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	道路除雪作業		h	30	-	-	
	砂利道の整正作業		h	0	-	-	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	道路維持作業車を整備することで、安定的な道路維持作業が遂行され、安心で安全な道路交通環境を確保できることから、事業の有効性及び効率性は高いものと考えています。						
事業の課題、今後の方向性等	市保有の道路維持作業車の大半は、老朽化が著しい状況にあるため、今後においても当該事業での更新を検討します。						
特記事項							



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 01土木総務費

事務事業番号 08010102

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳				
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源	
緑地公園パトロール車両購入費		3	千円	千円	千円	千円	3 千円	
財政部 管財課								
根拠法令								
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象		老朽した車両を更新します。						
事業の必要性		車両の更新により、維持管理費の抑制や安全性の向上が見込まれます。						
事業の内容		SDGs17の目標   平成12年式二輪駆動車のダブルキャブトラック 1台を四輪駆動車に更新し、樹木の伐採や剪定作業時の搬出作業のほか、大雨や大雪等の災害時の緊急作業車として使用します。車両の特殊性からリース方式ではなく、トータルコストで有利な購入方式を選択しています。 また、購入に当たっては、北海道市町村備荒資金組合の車両譲渡事業を活用していますので、初年度については、車両保険料のみを計上しています。 ※ 車両譲渡代金 総額5,817,627円 【償還期間：令和2年9月～令和7年3月】						
コスト				人件費				
				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	3	千円	}	担当正規職員	703	千円	0.1	人
人件費	703	千円		嘱託職員		千円		人
総 計	706	千円		再任用 (フル)		千円		人
				再任用 (ハーフ)		千円		人
				任期付職員		千円		人
				臨時職員		千円		人
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	緑地公園パトロール車両購入経費（自動車損害保険料）			千円	3	-	-	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）			<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）			<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	車両更新が図れたことで、維持管理費の抑制及び車両の安全性が向上しました。また、四輪駆動車への更新により、災害時の緊急作業車としての作業領域も拡充することができました。							
事業の課題、今後の方向性等	今後も車両の維持管理費の抑制及び安全性が保たれるよう、適正に車両の保守管理に努めていきます。							
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010201

事業名		R1年度		財 源 内 訳													
担当部・課		（決算額）		国道支出金	地方債	その他	一般財源										
マイホーム建設促進特例融資事業		39,200 千円		千円	千円	39,200 千円	千円										
都市建設部 総務課																	
根拠法令	苫小牧市マイホーム建設特例融資要綱																
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																
事業の目的・対象	マイホーム建設促進特例融資制度は、平成11年から13年に掛けて、国の景気浮揚策に連動し、苫小牧経済活性化対策の一環として市民の持ち家建設を促進させ住環境と福祉の向上を図るため、市が金融機関の協力を得て実施されたものです。その内容としては、借入者は金融機関と契約して融資を受け、金融機関は自己資金を用い低利で融資を行い、市は金融機関に貸付残額の一部を無利子で預託することで金融機関の資金繰りの負担軽減等を図るというものです。																
事業の必要性	制度自体は既に終了していますが、借入者については、当初、最長25年間の返済期間を設けており、制度終了後も借入者の金融機関への返済残額に応じて、市と金融機関で預託金の戻入事務が発生するため、事業自体は長期間の事務作業が必要となります。																
事業の内容	<p>毎年度の事業の内容としては、年度当初に貸付残額の一部を協調倍率（市の預託金と金融機関の資金の割合）に応じて、市が金融機関に預託し、毎月の借入者から金融機関への返済額に応じて、預託金を金融機関から市へ戻入させます。年度末には、一旦、預託金の全額を市に返還させます。</p> <p>また、年度当初の協調倍率は、前年度1月末の長期プライムレートにより決定し、7月時点で年度当初から比べて0.3%以上のレートの増減があった場合は、10月に協調倍率の変更を行うものとして、金融機関と契約を結んでいます。</p> <p>令和元年度3月末に報告を受けた時点の各金融機関の貸付状況等は以下のとおりです。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>金融機関</th> <th>件数 (件)</th> <th>貸付残額 (千円)</th> <th>協調倍率 (市：金融機関)</th> <th>預託額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苫小牧信用金庫 ほか7金融機関</td> <td>321</td> <td>1,215,721</td> <td>1：29.7</td> <td>39,200</td> </tr> </tbody> </table>							金融機関	件数 (件)	貸付残額 (千円)	協調倍率 (市：金融機関)	預託額 (千円)	苫小牧信用金庫 ほか7金融機関	321	1,215,721	1：29.7	39,200
金融機関	件数 (件)	貸付残額 (千円)	協調倍率 (市：金融機関)	預託額 (千円)													
苫小牧信用金庫 ほか7金融機関	321	1,215,721	1：29.7	39,200													
SDGs17の目標	 																
コスト		人件費															
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数												
事業費 (R1年度決算額)	39,200 千円	担当正規職員	351 千円		0.05 人												
人件費	351 千円	嘱託職員	千円		人												
		再任用(フル)	千円		人												
総計	39,551 千円	再任用(ハーフ)	千円		人												
		任期付職員	千円		人												
		臨時職員	千円		人												
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度										
	預託総額(決算額)			千円	39,200	49,400	30,600										
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低														
	事業の効率性(費用対効果)		<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低														
自己評価の理由	市民の持ち家建設を促進させ、住環境と福祉の向上を図るという、当該事業の当初の目的については、一定の効果を達成できたと思われませんが、長期間の事務処理が必要であり、効率性の良い事業とは言いがたい側面を持ち合わせています。																
事業の課題、今後の方向性等	低金利政策が続き、事業開始時と比較して金融機関に対する預託額が減少しており、当面はこのような状況が続くものと思われれます。																
特記事項	当初、貸付金の償還期限は、最大25年間でしたが、金融円滑法の施行後、11件の条件変更があり、令和19年まで期間が延びています。																


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010202

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳																																																									
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
住宅耐震・リフォーム支援事業		403	千円	千円	千円	千円	403 千円																																																						
都市建設部 建築指導課																																																													
根拠法令																																																													
実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																																													
事業の目的・対象		平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用して金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を利子補給金として補助することを目的とします。																																																											
事業の必要性		市民の住宅リフォームを支援するために必要な事業です。																																																											
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p>   <p>平成21年度から平成23年度に実施した事業で、住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苦小牧市が利子補給金として補助する事業です。（融資額650万円上限（耐震改修を行わない場合500万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。）</p>																																																											
コスト		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">人件費</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>職員構成</th> <th>概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th colspan="2">従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (R1年度決算額)</td> <td>403 千円</td> <td>担当正規職員</td> <td>70 千円</td> <td>0.01</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>70 千円</td> <td>嘱託職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>再任用（フル）</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>再任用（ハーフ）</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>任期付職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>臨時職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>総 計</td> <td>473 千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								人件費						職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		事業費 (R1年度決算額)	403 千円	担当正規職員	70 千円	0.01	人	人件費	70 千円	嘱託職員	千円		人			再任用（フル）	千円		人			再任用（ハーフ）	千円		人			任期付職員	千円		人			臨時職員	千円		人	総 計	473 千円				
		人件費																																																											
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																																																									
事業費 (R1年度決算額)	403 千円	担当正規職員	70 千円	0.01	人																																																								
人件費	70 千円	嘱託職員	千円		人																																																								
		再任用（フル）	千円		人																																																								
		再任用（ハーフ）	千円		人																																																								
		任期付職員	千円		人																																																								
		臨時職員	千円		人																																																								
総 計	473 千円																																																												
評価指標 (事業実績)		指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度																																																							
		住宅耐震・リフォーム支援事業の利子補給件数	件	75	85	105																																																							
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																																										
		事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																																										
自己評価の理由		平成21年度から平成23年度に実施した事業で、現在は利子補給のみ行っています。																																																											
事業の課題、今後の方向性等		令和8年度までが市の負担期間です。																																																											
特記事項																																																													

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010203

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
住宅リフォーム促進事業		10,291 千円	千円	千円	千円	10,291 千円
都市建設部 建築指導課						
根拠法令						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象 住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民が健康で快適な住生活を営むための住宅リフォームを支援することを目的とし、木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、木造住宅の耐震診断等の費用の負担を軽減し、耐震化を促進すること目的としています。						
事業の必要性 市民の住宅リフォームの支援と民間工事の需要拡大のために必要な事業です。						
事業の内容 SDGs17の目標   住宅リフォーム促進事業 (1) 住宅耐震・リフォーム支援事業・・・住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苫小牧市が利子補給金として補助します。（融資額650万円上限（耐震改修を行わない場合500万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。） (2) 木造住宅耐震改修等補助金交付事業・・・耐震診断や耐震改修工事の負担を軽減し、住宅の耐震化を促進するための費用の一部を直接助成します。（耐震診断、又は、耐震設計を行う場合は、10万円上限、耐震改修を行う場合は、60万円上限に市が負担します。）						
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	10,291 千円	担当正規職員	703 千円		0.1 人	
人件費	703 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用（フル）	千円		人	
総 計	10,994 千円	再任用（ハーフ）	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	住宅耐震・リフォーム支援事業の利用件数		件	85	71	73
	木造住宅耐震改修等補助金交付事業の利用件数		件	0	0	2
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由 市民が健康で快適な住生活を営むための住宅リフォームを支援しています。また、地元民間工事の需要拡大に貢献しています。						
事業の課題、今後の方向性等 リフォーム融資事業は平成14年度から行っており、申込状況はいずれも堅調で市民に浸透した事業であり、今後も事業の継続について検討していきます。						
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 01道路橋りょう維持費 事務事業番号 08020101


事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
雪氷対策費		288,534 千円	千円	千円	千円	288,534 千円
都市建設部 道路維持課						
根拠法令	道路法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	降雪や路面凍結等に伴う渋滞、スリップ、歩行困難などの交通障害を解消し、安全で快適な交通機能を確認するため、車道及び歩道の除雪や凍結防止剤散布を行うものです。					
事業の必要性	道路除雪は、積雪寒冷地域における冬期道路の交通確保に欠かせない、重要な役割を担っています。					
事業の内容	1 積雪量、路面状況、雪質、気象予報など、冬道に関する情報収集を行い、積雪量10cm以上を目安として除雪作業を行いました。 2 市民向けにホームページや広報、また町内会に直接出向いて、除雪方法や地域の方々等の協力をお願いするなど、除雪作業の理解向上に努めました。 3 市内の小学校に出向いて除雪移動教室を開催し、除雪の説明をしたり除雪車に直接触れ合っって危険性を認識してもらうことで、除雪作業の安全性の向上に努めました。					
SDGs17の目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> </div>					
						
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	288,534 千円	担当正規職員	16,865 千円		2.4 人	
人件費	19,585 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	308,119 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	2,720 千円		1.2 人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	除雪作業業務		回	16	15	56
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	降雪等による交通障害を解消し、安全で快適な交通機能を確認するため、車道及び歩道の除雪や凍結防止剤散布を行うことが高い効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	安定した除雪体制（除雪機械の確保、通学路の安全確保など）を維持し、市民生活の安全確保に努めます。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 01道路橋りょう維持費 事務事業番号 08020102

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳																																																			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源																																																
除雪作業車管理システム事業		8,580 千円		千円	千円	千円	8,580 千円																																																
都市建設部 道路維持課																																																							
根拠法令																																																							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																																					
事業の目的・対象		近年、一度に降る雪の量や雪質（降雪直後の降雨など）により、除雪作業時間の遅れが発生し、市民からの苦情や要望が増加していることから、除雪作業に関する情報収集の拡充が必要となっています。																																																					
事業の必要性		除雪作業車管理システムを導入することで、作業状況をリアルタイムに把握でき、除雪業者への指示がスムーズに行うことができます。また、除雪業者の事務作業が軽減されることから、除雪費の経費削減が見込まれます。																																																					
事業の内容		SDGs17の目標   除雪作業車管理システムの導入し、除雪作業状況を把握でき、除雪業者の事務作業の軽減を図りました。																																																					
コスト		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">人件費</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>職員構成</th> <th>概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th colspan="2">従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費 (R1年度決算額)</td> <td>8,580 千円</td> <td>担当正規職員</td> <td>1,405 千円</td> <td>0.2</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>嘱託職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>1,405 千円</td> <td>再任用（フル）</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>再任用（ハーフ）</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>任期付職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>9,985 千円</td> <td>臨時職員</td> <td>千円</td> <td></td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>								人件費						職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		事業費 (R1年度決算額)	8,580 千円	担当正規職員	1,405 千円	0.2	人			嘱託職員	千円		人	人件費	1,405 千円	再任用（フル）	千円		人			再任用（ハーフ）	千円		人			任期付職員	千円		人	総計	9,985 千円	臨時職員	千円		人
		人件費																																																					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																																																			
事業費 (R1年度決算額)	8,580 千円	担当正規職員	1,405 千円	0.2	人																																																		
		嘱託職員	千円		人																																																		
人件費	1,405 千円	再任用（フル）	千円		人																																																		
		再任用（ハーフ）	千円		人																																																		
		任期付職員	千円		人																																																		
総計	9,985 千円	臨時職員	千円		人																																																		
評価指標 (事業実績)		指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度																																																	
		除雪車運行管理システム業務		完成	-	-																																																	
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																																				
		事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																																				
自己評価の理由		システムの導入により、全除雪作業車の可視化で作業中の指揮・改善が可能となるとともに、市民からの問合せに即座に回答できることから、事業の有効性及び効率性は高いものと考えています。																																																					
事業の課題、今後の方向性等		システムに蓄積される稼働時間や軌跡、移動距離などを利用し、除雪車両のルート検討や地区配分の見直しなど実情に合った除雪計画に努めていきます。																																																					
特記事項																																																							




事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 01道路橋りょう維持費 事務事業番号 08020103

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳					
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源		
ふゆトピア・フェア事業		2,022 千円		千円	千円	千円	2,022 千円		
都市建設部 道路維持課									
根拠法令									
実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金									
事業の目的・対象		積雪寒冷地における冬の課題について、幅広く意見交換や議論をすることにより、雪国の未来を展望し、情報発信することを目的とします。							
事業の必要性		東北・北陸で開催されている「ゆきみらい」とともに建設省（現：国土交通省）が昭和60年に熱唱した「全国克雪・利雪シンポジウム、見本市」に始まる全国的なイベントの一環として開催するもので、総合的な雪対策を推進するために必要です。							
事業の内容 SDGs17の目標		<p>【2020ふゆトピア・フェアinとまこまい】</p> <p>(1) 開催日：令和2年1月23日、24日</p> <p>(2) 場所：市民会館・出光カルチャーパーク・総合体育館</p> <p>(3) 内容：シンポジウム・研究発表会・除雪機械展示会</p> <p>(4) 参加者：延べ5,100人</p>							
13 気候変動に 関係する目標									
コスト		人件費							
				職員構成		概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)		2,022 千円		担当正規職員		5,622 千円		0.8 人	
人件費		5,622 千円		嘱託職員		千円		人	
				再任用(フル)		千円		人	
				再任用(ハーフ)		千円		人	
				任期付職員		千円		人	
総計		7,644 千円		臨時職員		千円		人	
評価指標 (事業実績)		指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度	
		参加者延べ数			人	5,100	-	-	
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）			<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
		事業の効率性（費用対効果）			<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由		平日の開催ではありませんでしたが、参加者延べ5,100人が来場し、前回開催の函館市と同程度を確保することができました。市民会館で行われたシンポジウムではタレントの鈴木貴之氏による講演を開催、また総合体育館及び出光カルチャーパークでは研究発表会や除雪機械展示に多くの方々に参加していただき有意義な意見交換等議論することができたほか、子ども向けのアトラクションではとまチョップを迎え、2か所の幼稚園からの参加した児童にも楽しんでもらうことができ、イベントは盛況に終了することができました。							
事業の課題、今後の方向性等		今後、多様化する市民ニーズに円滑に対応するため、本イベントで得られた積雪寒冷地における冬の課題についての幅広い意見交換や議論、また研究発表会等での新技術等を本市に活用できるよう検討し、安全で快適な冬の道路網を確保できるよう努めてまいります。							
特記事項									




事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020201

事業名		財 源 内 訳																																			
担当部・課		R1年度 (決算額)	国道支出金	地方債	その他	一般財源																															
社会資本整備総合交付金事業（道路整備事業）		371,462 千円	210,200 千円	128,000 千円	千円	33,262 千円																															
都市建設部 道路河川課、道路維持課																																					
根拠法令		道路法																																			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																			
事業の目的・対象		快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を高齢者の増加など、社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む道路・橋梁などの健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通網を確保します。																																			
事業の必要性		市民の安全・安心で快適な生活を確保するために、老朽化が進む道路・橋梁などの改築・修繕を行う必要があります。																																			
事業の内容  SDGs17の目標  		1 橋梁長寿命化 事後対応型の管理から予防保全型の管理へ転換することで、架け替えなどに掛かるライフサイクルコストの縮減を図ります。  2 舗装道路の改築・修繕（幹線道路） 歩道のバリアフリー化を始め、安全・安心な道路交通網の整備をするほか、老朽化した舗装の修繕を行います。  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p>  </div> </div>																																			
コスト		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">人件費</th> </tr> <tr> <th>職員構成</th> <th>概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th>従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業費 (R1年度決算額)</td> <td rowspan="2">371,462 千円</td> <td>担当正規職員</td> <td>38,649 千円</td> <td>5.5 人</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td rowspan="2">38,649 千円</td> <td>再任用（フル）</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>再任用（ハーフ）</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">総 計</td> <td rowspan="2">410,111 千円</td> <td>任期付職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>臨時職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>						人件費			職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	事業費 (R1年度決算額)	371,462 千円	担当正規職員	38,649 千円	5.5 人	嘱託職員	千円	人	人件費	38,649 千円	再任用（フル）	千円	人	再任用（ハーフ）	千円	人	総 計	410,111 千円	任期付職員	千円	人	臨時職員	千円	人
		人件費																																			
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																																	
事業費 (R1年度決算額)	371,462 千円	担当正規職員	38,649 千円	5.5 人																																	
		嘱託職員	千円	人																																	
人件費	38,649 千円	再任用（フル）	千円	人																																	
		再任用（ハーフ）	千円	人																																	
総 計	410,111 千円	任期付職員	千円	人																																	
		臨時職員	千円	人																																	
評価指標 (事業実績)		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度																														
		橋梁長寿命化・耐震補強		橋	2	3	3																														
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低																															
		事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低																															
自己評価の理由		橋梁長寿命化を始め、舗装道路の改良など計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通網の整備を図っています。																																			
事業の課題、今後の方向性等		今後、老朽化が進む舗装や道路付属物、橋梁などの改築・修繕、点検などに要する予算が増加することから、効率的・計画的に事業を進め、社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら、更なる安全・安心な道路交通網の確保に努めてまいります。																																			
特記事項																																					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020202

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
単独道路舗装事業		524,035 千円	千円	452,200 千円	20,000 千円	51,835 千円
都市建設部 道路河川課						
根拠法令	道路法、苫小牧市道路の構造の技術的基準に関する条例					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を高齢者の増加など、社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら、主に生活道路における未舗装道路を対象に、安全・安心な道路交通網を確保します。					
事業の必要性	住宅地などの未舗装道路については、路面状態が悪く水溜りなど多く発生しており、まちかどミーティングや地域住民から舗装要望が多いことから、早急に整備する必要があります。					
事業の内容	・未舗装道路の舗装整備 路面状態が悪く、雨水処理されていない未舗装道路を整備します。					
SDGs17の目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と設備革新の 振興をつちかす</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p>  </div> </div>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	524,035 千円	担当正規職員	40,757 千円		5.8 人	
人件費	40,757 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	564,792 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	未舗装道路の整備		路線 (km)	34路線 (4.0km)	33路線 (4.2km)	55路線 (6.8km)
自己評価	事業の有効性 (効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性 (費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	青雲6号線ほか33路線など計画的な道路整備を行い、安全・安心な道路交通網の整備を図っています。					
事業の課題、今後の方向性等	まちかどミーティングや地域住民から特に要望の多い事業であり、平等な市民サービスを提供するための事業費確保のほか、可能な限り従来の車優先の道路から、歩道幅を拡張するなど歩行者優先の道路へと、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮した整備を進めています。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020203

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
単独道路新設改良費		595,334 千円	千円	440,300 千円	千円	155,034 千円
都市建設部 道路維持課						
根拠法令		道路法				
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金				
事業の目的・対象		社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮し、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、改築・修繕を行い安全・安心な道路交通網を確保します。				
事業の必要性		市民の安全・安心な生活を確保するため、老朽化が進む道路や道路施設の改築・修繕を行う必要があります。				
事業の内容 SDGs17の目標  		・道路施設の維持・修繕・改修 老朽化した道路や道路施設などの修繕や改築を行いました。  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【改修前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【改修後】</p>  </div> </div>				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	595,334 千円	担当正規職員	14,757 千円		2.1 人	
人件費	14,757 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	610,091 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	老朽化した舗装道路の改修		km	9	9	10
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	老朽化が進む道路施設の修繕・改修を進めることにより、安全で快適な交通網の確保等、コスト縮減に寄与できていると考えます。					
事業の課題、今後の方向性等	今後、更に老朽化が進む道路や道路施設が増え、修繕・改修に要する予算が増加することから、計画的に修繕・改修を進め、多種多様な市民ニーズに対応し、安全で快適な道路交通網の確保を目指し、更なる維持管理費の縮減に努めてまいります。					
特記事項						




事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020204

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
特定防衛施設周辺調整交付金事業		57,288 千円		52,000 千円	千円	千円	5,288 千円
都市建設部 道路維持課、道路河川課							
根拠法令	道路法						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を高齢者の増加など、社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進します。						
事業の必要性	航空機の音響に起因する障害の著しい飛行場等、周辺地域の生活環境開発に著しい影響を及ぼしている防衛施設周辺において、市民の安全・安心な生活を確保するため、防雪柵の設置や未舗装道路を整備する必要があります。						
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>防雪柵の設置 視程障害や吹きだまりが発生し、通行が困難になる道路に防雪柵を設置しました。</li> <li>未舗装道路の舗装整備 路面状態が悪く、雨水処理もされていない未舗装道路を整備しました。</li> </ul>						
SDGs17の目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> </div>						
	【設置前】		【設置後】				
							
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (R1年度決算額)	57,288 千円	担当正規職員	11,946 千円		1.7 人		
人件費	11,946 千円	嘱託職員	千円		人		
		再任用 (フル)	千円		人		
		再任用 (ハーフ)	千円		人		
		任期付職員	千円		人		
総 計	69,234 千円	臨時職員	千円		人		
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	防雪柵の設置		km	0.1	0.1	0.1	
	未舗装道路の舗装整備		km	0.2	-	-	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	舗装改修及び美々遠浅道線の防雪柵設置を進め、安心・安全な道路交通網の整備を図っています。						
事業の課題、今後の方向性等	円滑な走行の妨げとなる視程障害対策などの事業を、効率的に進める必要があり、更なる安全・安心な道路交通網の確保に努めます。						
特記事項							




事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020205

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
道路ストック総点検事業		9,557 千円		5,016 千円	千円	千円	4,541 千円
都市建設部 道路維持課							
根拠法令	道路法						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	活発な社会活動・経済活動に欠かすことのできない道路交通網を確保するため、老朽化が進む社会資本ストックの損傷状態を把握します。						
事業の必要性	社会資本ストックの老朽化が進んでおり、第三者被害の防止及び今後の効率的な維持管理を行うため、道路附属物の点検を行い、損傷状況を把握することが必要です。						
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路附属物点検 道路照明の点検を行い、損傷状態を把握しました。</li> <li>道路照明施設補修 道路照明の点検結果に伴い、早急な対応が必要と判断された場合に補修を行いました。</li> </ul>						
SDGs17の目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div>						
	コスト		人件費				
			職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		
事業費 (R1年度決算額)	9,557	千円	担当正規職員	6,324 千円	0.9	人	
人件費	6,324	千円	嘱託職員	千円		人	
			再任用 (フル)	千円		人	
			再任用 (ハーフ)	千円		人	
			任期付職員	千円		人	
総計	15,881	千円	臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度
	道路附属物点検			基	172	353	134
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）			<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）			<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	本事業により得られた点検結果を基に、緊急性の高い道路照明を補修することにより、第三者被害を防止するなどの効果を得られていると考えています。						
事業の課題、今後の方向性等	今後、老朽化が進む道路照明灯等の道路附属施設や道路が増え、補修に要する予算が大幅に増加することから、計画的に整備・補修を進め、多種多様な市民ニーズに対応し、安全で快適な道路交通網の確保を目指します。						
特記事項							



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020206

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
再編関連訓練移転等交付金事業		48,976 千円	37,700 千円	8,300 千円	千円	2,976 千円
都市建設部 道路河川課						
根拠法令	道路法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を高齢者の増加など、社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進します。					
事業の必要性	駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法に基づき、航空機騒音等による住民生活の安定に寄与するため、快適で潤いのある道路交通網を確保する必要があります。					
事業の内容 SDGs17の目標  	<ul style="list-style-type: none"> <li>舗装道路の改築</li> <li>老朽化による舗装のひび割れや段差解消など、道路の機能回復を始めとした、舗装の改築を行います。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【整備前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【整備後】</p>  </div> </div>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数		
事業費 (R1年度決算額)	48,976 千円	担当正規職員	8,432 千円	1.2	人	
人件費	8,432 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用 (フル)	千円		人	
総 計	57,408 千円	再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	舗装道路の改築		路線 (km)	1路線 (0.1km)	-	-
自己評価	事業の有効性 (効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性 (費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	舗装道路の改築を計画的に進め、快適で潤いのある安全・安心な道路交通網の整備を図っています。					
事業の課題、今後の方向性等	地域住民から要望の多い事業であり、平等な市民サービスを提供するための事業費確保のほか、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮した整備を進めてまいります。					
特記事項						





事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 03河川費

目 02河川改良費

事務事業番号 08030201

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
単独事業（河川整備事業）		142,324 千円	千円	106,600 千円	千円	35,724 千円
都市建設部 道路河川課						
根拠法令	河川法、苫小牧市普通河川管理条例					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	安全・安心な市民生活を確保するため、河川管理施設の保全や環境整備を実施することにより、老朽化した護岸の改良や水辺に親しめる施設整備を行います。					
事業の必要性	安全・安心な市民生活を確保するため、増水時に隣接する道路などの崩壊につながる老朽化した護岸の早急な改良が必要なほか、散策路等の水辺に親しめる施設の整備についても、まちかどミーティングや地域住民から強い要望があります。					
事業の内容	<p>1 護岸改良工事 老朽化した護岸は増水時に隣接する道路などの崩壊につながるため、既設護岸を改良します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>改良前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>改良後</p>  </div> </div> <p>2 環境整備工事 水辺に親しめる施設を整備します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>改良前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>改良後</p>  </div> </div>					
SDGs17の目標						
 						
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	142,324 千円	担当正規職員	23,892 千円	3.4	人	
人件費	31,014 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	173,338 千円	再任用 (フル)	4,567 千円	1	人	
		再任用 (ハーフ)	1,648 千円	1	人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	907 千円	0.4	人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	護岸改良		河川	4	4	7
	環境整備		河川	3	3	2
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	市内には数多くの河川があり、限られた財源の中で多くの河川整備を行えるよう個々の河川の特性を把握し、整備の優先度などを検討して計画的な改良を進めており、小糸魚川や樽前川などの護岸整備、錦岡川、苫小牧川などの環境整備を実施しています。					
事業の課題、今後の方向性等	河川管理施設の改良や環境整備を行うことは、集中豪雨による河川被害などを防止・軽減し、緑豊かな水辺空間を創出するなど、市民の安全・安心な生活に寄与するものです。今後も引き続き、護岸整備や河道しゅんせつなどを行い、河川の流下能力を確保するとともに、水辺に親しめる施設整備を行うことで、より一層の安全・安心で身近な河川となるよう整備を進めてまいります。					
特記事項						



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 01都市計画総務費

事務事業番号 08040101

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
地籍調査事業		3,704 千円	千円	千円	千円	3,704 千円
都市建設部 開発管理課						
根拠法令	国土調査法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	国土調査法に基づき一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査であり、国有林及び公有水面を除く市内全域が対象となります。成果は法務局に送付され様々な分野において活用されます。					
事業の必要性	本市は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域に指定されており、大規模災害発生時の早期復興を図る上で地籍調査が有効な手段となるほか、課税の適正化、公共事業や土地取引の円滑化などが図られます。					
事業の内容	SDGs17の目標   <p>対象地域について、町名ごとや字名ごと複数の地区に分割し（面積によっては更に細分化）、地区ごとの業務委託として、全ての土地について改めて一筆ごとに測量調査を行います。主な手順としては、①計画策定、②住民説明、③境界確認の立会、④地籍測量、⑤地籍図及び地籍簿の作成、⑥成果の閲覧、⑦認証請求、⑧法務局へ成果の送付となっております。1調査区をおおむね3か年で行います。</p> <p>令和元年度の事業としては、対象面積が広大であり、事業期間や全体事業費が莫大となることも想定されるため全体計画策定業務を実施し、その業務の中で現実的な事業の進め方について整理・検討を行いました。</p>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	3,704 千円	担当正規職員	2,108 千円		0.3 人	
人件費	3,021 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用(フル)	913 千円		0.2 人	
総計	6,725 千円	再任用(ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	区画整理事業を進めてきた本市の特徴を重視した調査方法の選定及び最新の測量技術を使用することで、事業費と事業期間の圧縮が図られた全体計画の策定となり、一定の評価ができるものと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	本事業は大規模災害発生時からの早期復興を図る上でも必要な事業ですが、莫大な費用と期間が必要であることから、より効果的な地区から開始できるよう中期的かつ具体的な実施計画を策定する必要があります。また、本事業への理解を深める市民周知の取組も必要と考えています。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040301

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
社会資本整備総合交付金事業（公園整備事業）		143,117 千円	60,434 千円	66,500 千円	千円	16,183 千円
都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		都市公園法				
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金				
事業の目的・対象		潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出し、誰もが安全・安心に利用できる公園の整備を進めます。				
事業の必要性		公園施設の老朽化に伴う更新やバリアフリー化のほか、利用形態の変化に対応し、誰もが安全・安心に利用できる公園を整備する必要があります。				
事業の内容 SDGs17の目標 		社会資本整備総合交付金を活用し、老朽化した施設の更新や園路整備、トイレのバリアフリー化を行いました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>【改修前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【改修後】</p>  </div> </div>				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	143,117 千円	担当正規職員	15,459 千円	2.2	人	
人件費	15,686 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	227 千円	0.1	人	
総 計	158,803 千円					
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	公園再整備数		箇所	4	12	4
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	公園の再整備を進めることで、誰もが安全・安心、快適に利用できる公園環境が確保されることから、事業の有効性及び効率性は高いものと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	市内の公園は開設から30年以上経過しているものが多く、遊具を始めとする施設の老朽化が進行していることから、計画的、効果的に公園整備を進める必要があります。					
特記事項						








事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040302

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
単独事業（公園整備事業）		70,500 千円		千円	29,200 千円	3,000 千円	38,300 千円
都市建設部 緑地公園課							
根拠法令	都市公園法						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	市民の憩いやコミュニティ活動などの場を創出するため、公園施設の更新・補修を計画的に行い、誰もが安全・安心に利用できる公園の維持管理を行います。						
事業の必要性	公園施設の計画的な更新・補修を行うことは、誰もが安全・安心に公園を利用するために必要です。						
事業の内容	SDGs17の目標  1 遊具更新   2 遊具補修（部材の補修）    						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (R1年度決算額)	70,500 千円	担当正規職員	5,622 千円		0.8	人	
人件費	6,865 千円	嘱託職員	千円			人	
総 計	77,365 千円	再任用（フル）	913 千円		0.2	人	
		再任用（ハーフ）	330 千円		0.2	人	
		任期付職員	千円			人	
		臨時職員	千円			人	
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度
	遊具更新基数			基	13	5	6
	遊具補修工事			公園	62	84	75
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	公園施設の計画的な更新・補修を行うことは、誰もが安全・安心に公園を利用するために必要であり、事業の有効性及び効率性が高いと考えています。						
事業の課題、今後の方向性等	今後、老朽化が進む公園施設の増加が見込まれることから、計画的に施設の更新や補修を進め、誰もが安全・安心に利用できる公園の維持管理を行います。						
特記事項							





事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040401

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
森林整備事業		6,012 千円		2,496 千円	千円	千円	3,516 千円
都市建設部 緑地公園課							
根拠法令							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象		森林の効用であるレクリエーションの機能や土砂流出防止などの多面的機能を発揮させるため、市有林やその他の民有林の整備と保全を図ります。					
事業の必要性		森林浴やレクリエーションの場として市民の身近な森林である高丘森林公園の整備をする必要があります。また、レクリエーションの機能や土砂流出防止など、市民の生活に大きな役目を果たしている森林の機能を持続する必要があります。					
事業の内容 SDGs17の目標  		1 高丘森林公園整備業務 公園内の園路に木チップを敷き均しました。 2 苫小牧市未来につなぐ森づくり推進事業 森林の持続を促すため、森林所有者へ伐採後の造林に対し助成を行いました。					
		【高丘森林公園整備業務】		【民有林の造林補助】			
							
コスト		人件費					
				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	6,012 千円	}		担当正規職員	703 千円	0.1	人
人件費	703 千円			嘱託職員	千円		人
総 計	6,715 千円			再任用 (フル)	千円		人
				再任用 (ハーフ)	千円		人
				任期付職員	千円		人
				臨時職員	千円		人
評価指標 (事業実績)		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
		高丘森林公園整備		m	園路380m	沓柵140m他	沓柵320m
		苫小牧市未来につなぐ森づくり推進事業		ha	9	4	4
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
		事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由		高丘森林公園の園路に木チップの敷き均しを行い利用性向上を図ったほか、民有林の造林を推進し多面的機能を持つ森林が更新されており、事業の有効性及び効率性は高いものと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等		市民の身近な森林である高丘森林公園の園路や階段などの施設が経年劣化してきており、継続的に整備を行っていく必要があります。					
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040402

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳					
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源		
緑の基本計画事業		7,832 千円		千円	千円	4,798 千円	3,034 千円		
都市建設部 緑地公園課									
根拠法令									
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金							
事業の目的・対象		市民との協働による緑化を推進します。							
事業の必要性		市民に「みどり」の大切さを認識してもらい、緑豊かなまちづくりの形成には、継続した緑化推進事業が必要です。							
事業の内容  SDGs17の目標  		<ol style="list-style-type: none"> <li>町内会等緑化推進事業・緑化推進基金活用事業 町内会や緑化活動団体に対して、緑化資材の提供や作業費用の助成を行いました。</li> <li>市民植樹祭準備業務 レンギョウやサクラの苗木と植樹の準備を行いました。</li> <li>木材リサイクル製品製作業務 持続可能な木材を活用したコマなどの玩具を作製しました。</li> </ol>							
		【緑化推進基金活用事業】		【市民植樹祭準備業務】		【木材リサイクル製品製作】			
									
コスト		人件費							
				職員構成		概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)		7,832 千円		担当正規職員		703 千円		0.1 人	
人件費		1,616 千円		嘱託職員		千円		人	
総計		9,448 千円		再任用(フル)		913 千円		0.2 人	
				再任用(ハーフ)		千円		人	
				任期付職員		千円		人	
				臨時職員		千円		人	
評価指標 (事業実績)		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度		
		町内会等緑化推進事業、緑化推進基金活用事業		団体	23	25	25		
		市民植樹祭準備業務		本	405	1,655	1,724		
		木材リサイクル製品製作		個	11,000	-	-		
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					
		事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					
自己評価の理由		町内会等のボランティアによる花壇づくりや、市民植樹祭による緑化活動が実施され、花と緑あふれる空間づくりに貢献しており、事業の有効性及び効率性は高いものと考えています。							
事業の課題、今後の方向性等		高齢化等により町内会活動が縮小傾向にあるため、ボランティアや企業等の団体と協働を推進していく必要があります。							
特記事項									







事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040403

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳																																			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源																																
市有林整備事業		3,685 千円	2,209 千円	千円	1,476 千円	千円																																
都市建設部 緑地公園課																																						
根拠法令																																						
実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金																																						
事業の目的・対象		市有林を継続的に管理するために、森林経営計画を策定し森林整備を行います。																																				
事業の必要性		森林の持つ多面的機能を持続的に発揮していくために必要な事業です。																																				
事業の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>美沢市有林下刈業務</li> <li>平成29、30年度に造林した市有林の下刈りを行いました。</li> </ul>																																				
SDGs17の目標		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>11 安全かつ住みやすいまちづくり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>【下刈前】</p>  <span style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">➔</span>  <p>【下刈後】</p> </div>																																				
コスト		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">人件費</th> </tr> <tr> <th>職員構成</th> <th>概算人件費 (平均給与×従事職員数)</th> <th>従事職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業費 (R1年度決算額)</td> <td rowspan="2">3,685 千円</td> <td>担当正規職員</td> <td>1,405 千円</td> <td>0.2 人</td> </tr> <tr> <td>嘱託職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td rowspan="3">1,405 千円</td> <td>再任用 (フル)</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>再任用 (ハーフ)</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>任期付職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>5,090 千円</td> <td>臨時職員</td> <td>千円</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>							人件費			職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	事業費 (R1年度決算額)	3,685 千円	担当正規職員	1,405 千円	0.2 人	嘱託職員	千円	人	人件費	1,405 千円	再任用 (フル)	千円	人	再任用 (ハーフ)	千円	人	任期付職員	千円	人	総計	5,090 千円	臨時職員	千円	人
		人件費																																				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数																																		
事業費 (R1年度決算額)	3,685 千円	担当正規職員	1,405 千円	0.2 人																																		
		嘱託職員	千円	人																																		
人件費	1,405 千円	再任用 (フル)	千円	人																																		
		再任用 (ハーフ)	千円	人																																		
		任期付職員	千円	人																																		
総計	5,090 千円	臨時職員	千円	人																																		
評価指標 (事業実績)		指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度																																
		下刈り	ha	29	54	51																																
自己評価		事業の有効性 (効果の達成状況)	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																			
		事業の効率性 (費用対効果)	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低																																			
自己評価の理由		立木を売払った収入で、森林の再造林と保育 (下刈り) を実施することができ、事業の有効性及び効率性は高いものと考えています。																																				
事業の課題、今後の方向性等		今後も、造林後の保育と伐採期に達した森林更新を継続的に行っていく必要があります。																																				
特記事項																																						






事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040404

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
地域おこし協力隊事業		3,990 千円		千円	千円	千円	3,990 千円
都市建設部 緑地公園課							
根拠法令							
実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金							
事業の目的・対象		地域おこし協力隊制度は、人口減少や高齢化等が進んでいる地方部において、地域力の維持又は強化を図るため、一定期間、都市部の人々が地域に移住して、地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る総務省所管の制度です。					
事業の必要性		隊員の派遣先である「苫東・和みの森運営協議会」は、苫東・和みの森において、森林づくりや木育活動などの利活用の推進しておりますが、利用者増加に伴い価値の高いサービスを提供できる人材の確保が求められています。					
事業の内容 SDGs17の目標		1 地域おこし協力隊報償費 協力隊員に報償費を支給しました。 2 地域おこし協力隊支援業務 協力隊員の集合研修やスキルアップに関する支援を行いました。					
 				【協力隊員の活動】		【研修会】	
				 			
コスト				人件費			
				職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	3,990	千円	}	担当正規職員	351 千円	0.05	人
人件費	351	千円		嘱託職員	千円		人
				再任用 (フル)	千円		人
				再任用 (ハーフ)	千円		人
				任期付職員	千円		人
総計	4,341	千円		臨時職員	千円		人
評価指標 (事業実績)		指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
		地域おこし協力隊員への支援			継続	採用	-
自己評価		事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
		事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由		協力隊員は、苫東・和みの森の木育活動の他、新たに馬を活用した環境活動を始める等、地域活動を積極的に行い、また、研修等の自己研鑽に励んでおり、事業の有効性及び効率性は高いものと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等		3年間の地域協力活動や研修を行いながら、最終的には、本市に定住・定着し、将来にわたり地域協力活動を継続していける人材となるよう育成していく必要があります。					
特記事項							




事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040405

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
林地台帳システム整備事業		560	千円	千円	千円	千円	560 千円
都市建設部 緑地公園課							
根拠法令	森林法						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	森林法上、市町村は森林の所有者や土地情報の事項を記載した林地台帳を作成し、その林地台帳の正確な記載を確保するよう努め、記載された事項を公表する必要があります。						
事業の必要性	森林法上、平成31年4月1日までに森林の土地の所有者情報及び森林の土地に関する地図からなる林地台帳を作成し、その後、正確な記載に努め開示と管理を実施しなければならないことから、システムの保守及びデータ更新は必要不可欠となります。						
事業の内容	SDGs17の目標   既存の土地情報システムと連動した統合型GISである林地台帳システムの保守とデータ更新を行いました。						
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (R1年度決算額)	560	千円	担当正規職員	351	千円	0.05	人
人件費	351	千円	嘱託職員		千円		人
			再任用(フル)		千円		人
総計	911	千円	再任用(ハーフ)		千円		人
			任期付職員		千円		人
			臨時職員		千円		人
評価指標 (事業実績)	指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度
	林地台帳システム				更新	整備	-
自己評価	事業の有効性(効果の達成状況)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性(費用対効果)		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	システムの保守及びデータ更新を行ったことにより、より正確な情報に更新することができ、事業の有効性及び効率性は高いものと考えています。						
事業の課題、今後の方向性等	適切な申請、届出等の受理により得られた情報に基づいて林地台帳の記載の修正を行い、林地台帳の管理に努めていきます。						
特記事項							


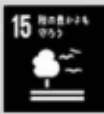
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040406

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
森林環境譲与税基金積立金		15,675 千円	千円	千円	千円	15,675 千円
都市建設部 緑地公園課						
根拠法令	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、苫小牧市森林環境譲与税基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	森林整備及びその促進に関する費用に充てることを目的に、譲与される森林環境譲与税を基金に積み立てるものです。					
事業の必要性	法令において、森林環境譲与税の使途及び実績を分かりやすく公表することが求められていることから、基金に積み立て、適切に事業の執行と財源の管理を行うことが必要です。					
事業の内容	SDGs17の目標  					
	平成30年度末基金残高	0円				
	令和元年度基金積立金	15,675千円				
	令和元年度基金取崩し額	0円				
	令和元年度末基金残高	15,675千円				
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	15,675 千円	担当正規職員	351 千円		0.05 人	
人件費	351 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	16,026 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	基金の年度末残高	千円	15,675	-	-	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	今後、基金を活用した市内の森林調査を実施する計画であり、事業の有効性及び効率性は高いものと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	法令に基づいて、森林環境譲与税を活用した事業への充当を適切に実施していきます。					
特記事項						


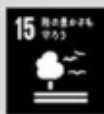
事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040407

事業名		R1年度 (決算額)		財 源 内 訳			
担当部・課				国道支出金	地方債	その他	一般財源
緑化推進基金積立金		600	千円	千円	千円	600	千円
都市建設部 緑地公園課							
根拠法令	苫小牧市緑化推進基金条例						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金						
事業の目的・対象	本市の緑化を推進する事業等に必要な経費の財源に充てるため、寄附金や市有林の立木売払い収入を積立てを行います。						
事業の必要性	生活に潤いや安らぎを与える緑化と、環境保全などの多面的機能を有する森林を持続していくために必要です。						
事業の内容	SDGs17の目標  						
	平成30年度末基金残高	88,877,928	円				
	令和元年度基金積立金	600,177	円				
	令和元年度基金取崩し額	9,204,986	円				
	令和元年度末基金残高	80,273,119	円				
コスト		人件費					
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数		
事業費 (R1年度決算額)	600	千円	担当正規職員	351	千円	0.05	人
人件費	351	千円	嘱託職員		千円		人
総 計	951	千円	再任用 (フル)		千円		人
			再任用 (ハーフ)		千円		人
			任期付職員		千円		人
			臨時職員		千円		人
事業実績 (活動指標)	指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度
	基金の年度末残高			千円	80,273	88,878	109,358
	寄附金			千円	600	592	3,689
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	基金を活用した緑化推進の事業を実施することができ、事業の有効性及び効率性は高いものと考えています。						
事業の課題、今後の方向性等	緑化推進への協力を募っていく必要があるほか、多くの市民に緑化や森林の必要性を理解していただき、より効果的な事業を実施していきます。						
特記事項							


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050201

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
住宅建設事業【継続事業】		864,918 千円	401,436 千円	398,600 千円	3,033 千円	61,849 千円
都市建設部 住宅課						
根拠法令	公営住宅法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	<p>市営住宅の老朽化に伴い、適正な建て替え等による住環境の整備が急務となっている中で、少子高齢化の進行や人口減少などの社会情勢の変化に配慮しながら、良質で快適な生活を営める住環境整備を行います。</p>					
事業の必要性	<p>令和元年度末で耐用年数の2分の1を超えている住宅は全戸数の約80%あり、建物の老朽化が顕著となっています。一方で入居率は95%を超えており、入居希望者も多数いることから、既存住宅の用途廃止を行う際は、計画的な住宅の建て替えが必要となります。</p>					
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>  <p>【日新団地建替事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>新築住宅の建設・既存住宅の解体等             <ul style="list-style-type: none"> <li>日新団地の5棟目（新10号棟5F60戸）の建設に着手するとともに、建て替え対象である4-11-1（30戸）、4-11-2（40戸）、4-11-4（30戸）の解体工事を行いました。</li> <li>平成30年度に共用開始した新11号棟の緑化工事を行いました。</li> </ul> </li> <li>新築及び解体実施設計             <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に着工予定の新9号棟（60戸）の新築実施設計を行いました。</li> </ul> </li> <li>建て替えに伴う入居者の移転             <ul style="list-style-type: none"> <li>仮移転先の住戸修繕及び移転対象者への移転補償を行いました。</li> </ul> </li> </ol>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	864,918 千円	担当正規職員	7,730 千円	1.1 人		
人件費	10,450 千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用(フル)	千円	人		
総計	875,368 千円	再任用(ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	2,720 千円	1.2 人		
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	建設戸数	戸	0	60	36	
	解体戸数	戸	100	80	0	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	<p>日新団地建替事業は計画どおりに進捗しており、老朽化住宅の解消が図られ、国費の効果的活用も図っています。ユニバーサルデザインを取り入れた新築住宅を整備するとともに、コスト低減にも努めており、事業の有効性は高く、費用に見合う効果が得られていると考えております。</p>					
事業の課題、今後の方向性等	<p>市営住宅の老朽化が進む中、維持管理費も増加傾向にあります。また本市は、全道的にも世帯数に対する管理戸数割合が高く、人口減少が続くと見込まれることから、管理戸数を漸減していく必要があります。しかしながら、高い入居率や入居希望者も多数いるなど、急激な削減は困難であるため、計画的な建て替えや既存ストックの有効活用、用途廃止を実施しながら、計画的に管理戸数を削減していくことが重要と考えています。</p>					
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050202

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
除却事業		26,710 千円	2,775 千円	千円	23,935 千円	千円
都市建設部 住宅課						
根拠法令	公営住宅法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	市営住宅の老朽化等のため空き家となった住宅について、計画的な解体に向け除却事業を行います。					
事業の必要性	老朽化等により市営住宅としての用途廃止に伴い、安全面や防犯上の課題、今後の用地活用の観点から早期解消が必要となります。					
事業の内容 SDGs17の目標	 <ol style="list-style-type: none"> <li>旭町市営住宅（2-1-1）除却に向けた1階分譲店舗の不動産取得 ・市による建物1階部分の取得に必要な補償等を行いました。</li> <li>旭町市営住宅（2-3-4）解体に向けた入居者移転 ・入居中28世帯の近隣市営住宅への移転補償等を行いました。</li> <li>高砂町市営住宅（2-5-4）解体に向けた入居者移転 ・入居中15世帯の近隣市営住宅への移転補償等を行いました。</li> </ol>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	26,710 千円	担当正規職員	9,838 千円		1.4 人	
人件費	9,838 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	36,548 千円	再任用 (フル)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	除却戸数	戸	0	16	0	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	老朽化その他課題がある住宅を解消するとともに、適正な管理戸数の実現に向けて計画的に事業を進めており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えます。					
事業の課題、今後の方向性等	市営住宅の老朽化が進む中、維持管理費も増加傾向にあります。さらに本市は、全道的にも世帯数に対する管理戸数の割合が高く、人口減少が続くと見込まれることから管理戸数を漸減していく必要があります。引き続き「苫小牧市営住宅整備計画」に基づいて、計画的に老朽化住宅等の解消を進めてまいります。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050203

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
住宅改善事業		918,125 千円	378,428 千円	378,100 千円	161,597 千円	千円
都市建設部 住宅課						
根拠法令	公営住宅法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	市営住宅の老朽化に伴い、適正な建て替え等による住環境の整備が急務となっている中で、少子高齢化の進行や人口減少などの社会情勢の変化に配慮しながら、良質で快適な生活を営める住環境整備を行います。					
事業の必要性	建物の老朽化が顕著となっている一方で、今後も多くの既存住宅を維持管理していく必要性もあることから、入居者が安心かつ安全に暮らせるよう、計画的な住宅の改修工事等を行います。					
事業の内容	SDGs17の目標  1 長寿命化に関する改善・改修工事及び設計業務 ・大成町市営住宅（1-9-1）西面外部等改修工事を行いました。（208戸） ⇒外壁、金物、バルコニー防水、機械室、照明、避雷針等の改修。 ・末広町市営住宅（1-2-4）ほか3棟の外部等改修工事を行いました。（303戸） ⇒外壁、金物、廊下防水、屋上防水、共用部照明等の改修。 ・住吉町市営住宅（2-3-1）のエレベーター改修工事を行いました。（30戸） ・青葉町市営住宅（1-4-1,5）ほか2棟の外壁・外部等改修実施設計を業務を行いました。（120戸）  2 東開町市営住宅（6-1-20）ほか134棟の火災警報器取替業務を行いました。（614戸）					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	918,125 千円	担当正規職員	14,054 千円	2 人		
人件費	14,054 千円	嘱託職員	千円	人		
総 計	932,179 千円	再任用 (フル)	千円	人		
		再任用 (ハーフ)	千円	人		
		任期付職員	千円	人		
		臨時職員	千円	人		
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	R1年度	H30年度	H29年度	
	改善・改修戸数	戸	1,275	2,346	1,204	
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	住宅改善事業は「苫小牧市営住宅長寿命化計画」に基づいて、改善や改修の必要性と効果を考慮して行っており、国費の効果的活用も図っています。事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えております。					
事業の課題、今後の方向性等	市営住宅の老朽化が進む中、維持管理費も増加傾向にあります。一方で、高い入居率や入居希望者も多数いるなど急激な管理戸数の削減は困難であり、今後も多くの既存住宅を維持管理していく必要があります。そのため、建て替えや改善工事を含めた計画的な住環境の整備を行ってまいります。					
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050204

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
外部等改修事業		27,368 千円	11,481 千円	11,400 千円	4,487 千円	千円
都市建設部 住宅課						
根拠法令	公営住宅法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	<p>市営住宅の老朽化に伴い、適正な建て替え等による住環境の整備が急務となっている中で、少子高齢化の進行や人口減少などの社会情勢の変化に配慮しながら、良質で快適な生活を営める住環境整備を行います。</p>					
事業の必要性	<p>建物の老朽化が顕著となっている一方で、今後も多くの既存住宅を維持管理していく必要性もあることから、入居者が安心かつ安全に暮らせるよう、計画的な住宅の改修工事等を行います。</p>					
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>  <p>○屋上防水改修工事            ・勇払市営住宅（132-4）ほか1棟の屋上防水改修工事を行いました。（60戸）            ⇒経年劣化による市営住宅の漏水対策工事</p>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	27,368 千円	担当正規職員	2,811 千円		0.4 人	
人件費	2,811 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用(フル)	千円		人	
総計	30,179 千円	再任用(ハーフ)	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	改善・改修戸数		戸	60	220	1,104
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	<p>外部等改修事業は、主に「苫小牧市営住宅長寿命化計画」に基づいて必要性や効果を考慮して行っており、国費の効果的活用も図っています。事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。</p>					
事業の課題、今後の方向性等	<p>市営住宅の老朽化が進む中、維持管理費も増加傾向にあります。一方で、高い入居率や入居希望者も多数いるなど急激な管理戸数の削減は困難であり、今後も多くの既存住宅を維持管理していく必要があります。そのため、建て替えや改善工事を含めた計画的な住環境の整備を行ってまいります。</p>					
特記事項						




事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050205

事業名		R1年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
熱供給設備等改修事業		4,890 千円	千円	千円	4,890 千円	千円
都市建設部 住宅課						
根拠法令	公営住宅法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	市営住宅の老朽化に伴い、既存ストックの有効活用が重要な課題となっていることから、入居者が安全かつ安心に暮らせるよう熱供給設備等の整備を行います。					
事業の必要性	地域暖房を採用している山手地区（山手）は、建設後40年以上が経過し、サブステーション内の各種設備や埋込配管等の老朽化が進んでいる状況にあります。引き続き、入居者への安定的な熱供給を行うため、計画的な改修工事の必要があります。					
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>○山手町ボイラープラント設備改修工事を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・供給先 山手町市営住宅（2-9-1）225戸 山手町市営住宅（2-9-4）40戸</li> <li>・ボイラー低水位遮断付水位調整器取替、ボイラー遮断弁取替、給湯ヘッダー（往）バルブ取替等</li> </ul>					
コスト		人件費				
		職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
事業費 (R1年度決算額)	4,890 千円	担当正規職員	703 千円		0.1 人	
人件費	703 千円	嘱託職員	千円		人	
総 計	5,593 千円	再任用（フル）	千円		人	
		再任用（ハーフ）	千円		人	
		任期付職員	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
評価指標 (事業実績)	指標名		単位	R1年度	H30年度	H29年度
	改善・改修戸数		戸	265	1,891	1,449
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	設備の老朽程度や改修の必要性を判断しながら事業を進めており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えます。					
事業の課題、今後の方向性等	市営住宅の老朽化に伴い、維持管理費が増加傾向にあります。一方で、高い入居率や入居希望者も多数いるなど今後も多くの既存住宅を維持管理していく必要があることから、計画的な熱供給設備等の改修を実施してまいります。					
特記事項						